

2021年度 経営情報学部 「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

教員区分	教員氏名	科目群	科目名	単位数	実務経験の内容等
専任	金 美徳	問題解決学科目群	アジア経済論Ⅰ	2	株式会社三井物産戦略研究所にて北東アジア地域を担当・統括し、世界潮流の把握、同地域の政治経済動向とビジネストレンドの分析、地政学リスクの助言、アジア戦略の提案などを行った。具体的には、三井物産株式会社の経営幹部・各部署・各支店、二木会(三井グループ社長会)、関係省庁向けに資料・情報の提供やブリーフィングを行った。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			韓国経済論	2	
	小林 英夫		経営情報論Ⅰ	2	日本IBM株式会社でSEおよびソリューション営業に従事後、イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク)の創業に参画。主に組織管理や経営企画を担い東証1部上場へ貢献、代表取締役副社長を務める。子会社としてイー・モバイル株式会社(現ソフトバンク・ワイモバイル事業)の創業も手掛け、経営戦略本部長・情報システム本部長、副社長を歴任。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			経営組織	2	
			ベンチャー企業論	2	
	崎濱 栄治		データ分析実践	2	SPSS Japanでテクニカルサポート、みずほ第一フィナンシャルテクノロジーで金融工学コンサルティング、フランスのアムンディではクオンツファンドマネジャーとして2,000億円超の年金資産運用を経験。その後、Webマーケティングベンチャーのイルグルム、ファンコミュニケーションズでデータサイエンスチームを統括。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			マーケティング・データ分析	2	
	内藤 旭恵		ブランドマネジメント	2	NECエンジニアリング株式会社に在籍。放送映像システムのソフトウェア開発に携わり、主に、株式会社ベイエフエム、株式会社TBSラジオ、日本テレビ放送網株式会社などの企業を担当した後、人工衛星の筐体設計を行い、主に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)やNEC東芝スペースシステム株式会社と開発協力。その後、携帯電話向け基地局のハードウェア設計を行った。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			情報ネットワーク	2	
			経営とセキュリティ	2	
	長島 剛		事業デザイン論Ⅱ	2	多摩信用金庫の価値創造事業部や地域連携支援部で、多摩市・多摩信用金庫・多摩大学の三者による「多摩市創業支援事業連携協定」締結をはじめ、地域の自治体や大学・高専等との連携や地元企業やNPO等のマッチングに多数関わる。多摩ブルー・グリーン賞、ブルームセンター、課題解決プラットフォームTAMA、創業支援センターTAMA等開設。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			地域金融論	2	
	中庭 光彦		地域観光論	2	日本コンベンションサービス株式会社でPCO(Professional Congress Organizer)となり国際航路会議、多摩学長国際会議等数々のMICEの企画・運営、自治体のMICE戦略策定業務に携わる。その後、株式会社プロジェクトプレーンを創業し、企画担当役員・文化事業のプランナーとして活躍。1999年のミツカン水の文化センター創設に当初から参画し、第11回(2009)日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			地域政策プランニング	2	
			地域ビジネスプランニング	2	
	西村 知晃		人材マネジメント論	2	三菱マテリアル株式会社人事部門において、東京本社および九州工場(福岡)の人事・総務を経験。給与・賞与・退職金制度の改定・実施、労組折衝のほか、新卒・中途採用、社員教育を担当。2002年社会保険労務士資格取得。神戸大学大学院にて組織行動論、人的資源管理論を学ぶ。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			リーダーシップ論	2	
	バトル		アジア経済論Ⅱ	2	株式会社三井物産戦略研究所国際情報部にて、親会社の株式会社三井物産の会長以下経営陣をはじめ、経営企画部、各商品本部(含国内・海外拠点)向けに、大中華圏におけるビジネス戦略の立案・企画と情報支援活動に参画。また、三井グループの関連企業の経営陣向けにも定期的に情報支援活動に従事した。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			中国経済論	2	
	初見 康行		産業社会科目群	キャリア・デザインⅢ	2
浜田 正幸	業界研究Ⅰ	2	本田技研工業株式会社、株式会社本田技術研究所にて自動車レースのF1プロジェクトのマネジメントチームに参画。その後株式会社野村総合研究所で経営コンサルタント。独立して株式会社ケアブレインズ創業。共同ファウンダー。株式会社ジェイ・フィール創業。取締役副社長。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。		
	消費心理	2			
松本 祐一	問題解決学科目群	NPO・NGO論	2	株式会社シー・エンド・シーにて、国内食品・飲料メーカーの商品開発のための市場調査の企画、実査、分析等に従事、その後株式会社アイアンドディーにて、国内外のIT関連企業のマーケティング、特に顧客開発のための戦略立案・実行を担当。また、学生時代に国際NGO国境なき医師団日本事務局にて、学生NPOの立ち上げと運営を経験している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
	事業デザイン論Ⅰ	2			

教員区分	教員氏名	科目群	科目名	単位数	実務経験の内容等
非常勤	青木 克彦	産業社会科目群	産業社会特講(企業経営論、企業経営の現場を学ぶ)	2	三菱商事株式会社、三菱UFJリース株式会社で、マネジメント、経理、財務、金融関連の業務を幅広く担当。特に、数多くの企業買収分野での経験豊富。米国駐在経験も含めグローバルなビジネスに永年携わっている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	荻阪 哲雄		産業社会特講(ビジョン・マネジメント論2021春)	2	警視庁、ベンチャー企業で勤務の後、組織風土改革プロフェッショナルファーム(株)スコラ・コンサルトの創業期に参画。同社パートナーを経て、独立。職場結束力を高め、ビジョンを行動へ変える独自手法『バイディング・アプローチ』を考案・提唱して、株式会社 チェンジ・アーティストを設立。代表に就任。これまでに、3万時間以上のコンサルティングを展開して、1万2000名のリーダーを支え、企業変革を支援している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的な研究と教育を行っている。
	橘川 幸夫		産業社会特講(参加型社会の時代に向けて)	2	1972年、音楽投稿雑誌「ロッキングオン」創刊、編集室長。1978年、全面投稿雑誌「ポンプ」を創刊、編集長。その後、メディア開発、マーケティングリサーチ、企業コンサルティングなどを勤める。1996年、株式会社デジタルメディア研究所を創業。インターネット関連の業務、コンサルを行う。「暇つぶしの時代」(平凡社)「森を見る力」(晶文社)「参加型社会宣言」(メタ・ブレン)など著作多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	久米 信行		ビジネスコミュニケーションⅡ	2	イマジニアでゲーム企画開発と営業、日興証券(現SMBC日興証券)でAI相続診断システム開発・研修担当を経て、家業のTシャツメーカー久米繊維工業の三代目経営者(現在相談役)。いちはやくICTを活用し、日経インターネットアワード、経済産業省「IT経営百選」、東京商工会議所「勇気ある経営大賞」特別賞を受賞。APEC2010中小企業サミット日本代表。東京商工会議所墨田支部副会長、墨田区観光協会理事として観光地域づくりに邁進。墨田区文化振興財団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本舞台芸術振興会、日本吟剣詩舞振興会の評議員として文化振興と国際交流に尽力。iU情報経営イノベーション専門職大学 教授(イノベーションプロジェクト担当)。iU地域連携センターで地元墨田区の団体・企業との協働プロジェクトを推進する。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的な研究と教育を行っている。
	後藤 涼子	問題解決学科目群	データベースⅠ	2	野村證券株式会社企業情報部を経て、ゼネラルビジネスサービス株式会社にて企業向けMS Office等各種アプリケーション、WEB制作研修等に携わる。その後ITインストラクター及びライターとして、講師活動を行うとともに、IT関連書籍の執筆多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	中湊 晃		国際ビジネス論	2	三井物産(株)で執行役員を務め、鉄鉱石、エネルギーなど国際資源ビジネスを担当、事業企画、M&A、トレーディングの経験豊富。海外勤務は豪州、英国、米国、インドネシアなど合計13年に及ぶ。鉄鉱石部長、エネルギー業務部長、米国三井物産上級副社長、インドネシア総代表、三井物産戦略研究所社長を歴任。三井グループのシンクタンクである三井業際研究所の運営委員及び研究主査、日本貿易会の運営委員会座長、経団連の東亜経済人会議日本委員、内閣府個人情報保護委員会専門委員等を務める。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
合計:学部等共通科目				60	